

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年1月22日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	○個室やスペースが複数あるので、日々の利用者に応じて場所を決めており、適切にできていると思います。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	1	0	○職員数が少ない時は集団で行える活動を取り入れています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	3	○段差のある所では「歩きましょう」と掲示したり声を掛けたりしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2	0	○年間計画を立案する際に、職員一人一人の分掌に関する業務決めをし、責任をもって行動できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	○日常的に保護者との会話を通して意向を聞き取るようにしていますが、事業所評価表は法人のホームページ上、磐田校のブログ内で紹介するとともに、直接保護者にも伝えていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	○法人のホームページ上に掲載し、公開したことを保護者には伝えていきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	8	○現段階では行っていませんが、今後行う場合には、保護者にお伝えする旨、契約時に伝えていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	○内外問わず、研修に参加できる機会を設けており、参加した職員が他の職員と情報を共有しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	○継続で放デイを利用している利用者に関しては、アセスメントを行い、新規の利用者に関しては、利用開始時に行っています。今後も毎年最低一度はアセスメントを行い、ニーズや課題について職員間で共有していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	0	○法人内で標準化されたアセスメントツールを使用していますので、今後も活用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0	○基本的には、どの利用者も複数の指導員が輪番で担当しますので、プログラムの立案も個人任せではなく、職員がチームとなって行うことがほとんどです。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	1	○プログラムが変わらないという保護者からの訴えがあった際には、再度職員

					間で検討し、固定化しないように再度立案しました。利用者に対して細かい分析を行うよう心掛け、それを支援に還元していきたいと考えています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	0	○休日や長期休暇などに、イベントを企画し、支援の内容がマンネリ化とならないように、職員間でアイデアを出し合って、利用者の楽しみのひとつとなるようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	○通常の個別支援の最後の時間に「おたのしみ」と称して同時間帯他児との交流の時間を設けたり、月に一度小集団で活動する週を設けたりすることで個別と集団、両方の活動に取り組むことができるように計画しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	1	○支援開始前というより、毎日朝礼の際に本日の予定や担当の確認、部屋決めなどを行い情報共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	2	○支援終了後に時間がなければ翌日の朝礼時に必ず打ち合わせの中で振り返りを行い、全利用者の状況を把握するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	○支援記録の入力はもちろん、記録を法人内のシステム上に保存して、いつでも校舎内の職員が閲覧できるようにしており、検証や改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	○半年ごとに担当した職員複数名で、利用者の支援内容について話し合い、モニタリングすることで、半年間での成長点や次の課題を共有し、支援計画に繋げています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	2	0	○職員がガイドラインをしっかりと理解できるように共通理解を図っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	○会議が開催される前に、担当した職員間で話し合い、記録を作成し、保護者に事前に確認していただいたうえで、会議に参加し、事後報告までを都度行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1	0	○送迎は行っていませんが、学校行事に関しては、学校のホームページを確認、利用者からコピーをもらう等して、市内の学校の情報を校舎内で共有するようにしています。 また、保護者の承諾を得た上で、学校の担任との連携もとるように努めています。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	7	○現時点では該当児童はいませんが、そういったケースに対応する際は、相談支援事業所や主治医等関係機関と十分に連携をとることができるようにしています。 ○病院の作業療法リハビリを受けている利用者については、実際に見学に行ききりりであることをOTより教えていただく機会も設けています。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	1	8	○現状ではこういったことは行っていません。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	7	○これまでにこういったケースはありましたが、昨年度、今年度はありません。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	0	○市は異なりますが、他市の大学講師より助言を受け研修を受ける機会は隔月設けています。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	8	○地域の他事業所と交流することは物理的に難しいですが、職員はできるだけ交流させていただき予定で考えています。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	2	○全ての職員ではありませんが、できるだけ参加しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	0	○日々の支援後、必ず保護者にフィードバックし、支援内容や利用者の様子などを共有するようにしています
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	3	○正式なペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者支援として事業所でできる範囲の相談支援、提案などは行っています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	○契約時に説明は行っています。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	○子育て経験や職歴の長い職員は、自身の経験を交え、相談対応ができていますが、机上の知識だけで相談支援を行っている職員もあり、全てが適切な支援となっているかどうかは不明です。
	㉚	父母の会の活動を支援する、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	○父母の会という組織は特にありません ただ、隔月で保護者会(きりりカフェ)を行うことで年間6回、保護者同士が連携を取る機会は用意して

					います。	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	0	○苦情受付に相当する事案がありました。保護者に対しては迅速に対応し職員間で共有し、同じ苦情が二度と起こらないように対応しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	○できるだけ紙媒体での情報を減らし校舎のブログやLINE、メールなどを活用してできるだけ速く情報を共有できるように工夫しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	○全職員が十分に注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	○視覚情報、聴覚情報、どちらが優位であるかを把握し、情報伝達の仕方を配慮しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	8	○短い時間での療育を行っているため事業所の行事に地域のかたを招くということは物理的に難しく、今も今後行う予定はありません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	○全てのマニュアルは策定し、校舎内ファイルに保管されていますが、保護者が校舎内に入る機会が少なくご覧いただく機会がありません。しかしこういったものを策定しているということは周知していきたいと考えます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	○訓練は毎月行い、該当児には、2週間前に告知し、校舎内に案内を掲示しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	○虐待防止委員会があり、委員は定期的に虐待研修を受けていますが、それをできるだけ保護者にも周知していきたいと思います。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	1	○身体拘束について、契約時や個別支援計画の中に記載し、説明もしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	2	7	○食事やおやつなどの提供がないため基本情報シートに記載されていることを確認する程度となっています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	○ヒヤリハット事例が起きた時には速やかに事例報告を上げ、職員間で共有しています。



						また、ヒヤリハット事例が起こらないような環境づくりに心がけています。
--	--	--	--	--	--	------------------------------------

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 1月 22日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校

保護者等数（児童数）：67 回収数：59 割合：88 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	54	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中をあまり見たことがないのでよくわからない</li> <li>○保護者への申し送りは駐車場でやっているため、個別面談やきらりカフェの時に中に入っていたいく程度であること、申し訳なく思います。</li> <li>・集団をもっと増やしてほしい</li> <li>○毎月1週間だけ小集団の活動を行っていますが、基本が個別療育であるため、あとはイベントに参加し、集団で過ごす機会を体験していただけたらと考えます。</li> </ul>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	49	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員により差が激しい</li> <li>・スキルはともかく、やる気に差が激しいのは気になります</li> <li>○スキルに関しては、経験や研修を重ねることで積み上げていくようにしていますが、「やる気」に関して保護者にそういった印象を与えてしまったことは大変遺憾です。対利用者、対保護者への関わり方についても引き続き研鑽を積んでいきたいと考えます。</li> </ul>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	30	26	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中に入れないのでわからない</li> <li>○コロナ禍以降、面談の時以外で保護者が中に入られる機会が減っておりますが、面談の際には、お気軽に事業所内をご覧になっていただけたらと思います。</li> </ul>
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	53	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの特性や要望などに柔軟に対応して支援をしてもらっています</li> <li>○支援計画に基づき、職員間で情報共有をしながら支援の内容を考えています。</li> </ul>
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	45	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の興味や関心のあるものをうまく利用して支援してくれている</li> <li>○利用者の得意なことや関心のあることは常に会話をする中で汲み取り、支援の中で活用するようにしています。</li> </ul>

保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	24	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知る限りでは機会がない</li> <li>・他の交流を必要としていない</li> <li>・学校に通っているため、ここでそういった交流がなくても特に問題はない</li> </ul> <p>○きらりは個別療育が中心であるため、他事業所の子どもたちと交流する機会は作っていませんが、きらりの他校舎の子どもとの交流は可能です。</p>
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	56	3		○契約の際にご説明しています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	53	6		○保護者からうかがったことを職員間で共有、きらりでの様子を保護者にお伝えということで、共通理解に努めています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	51	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの特性ゆえに様々な辛い状況になることがあり、そのような時に寄り添い、親身になって相談に乗ってもらえ動いてもらえたことがとても嬉しく感謝しています</li> <li>・丁寧に話を聴いてくれたり説明してくれたりする</li> </ul> <p>○個別面談は、要望のあるかたとは都度行い、育児に関する助言や提案などは、指導員からも都度行っています。</p>
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらりカフェは開催されるが、平日だと参加できない</li> <li>・保護者同士交流できる場があるといのですが…</li> <li>・きらりカフェが土曜日に行われたので参加できた</li> </ul> <p>○きらりカフェに関しては、毎年、年間6回（今年度はさらに追加しました）年度初めに計画し、保護者にも年間スケジュールでご案内し、ご都合のいい時に参加していただくようにお伝えしています。次年度以降も曜日を変え、どういう働き方をされているかにも一度は参加していただけるような企画をしていきます。また、きらりカフェをきっかけに保護者同士が連絡を取り合って交流されているということも聞いています。</p>
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	19		○保護者や利用者からの苦情については、職員間で共有し、迅速に改善方法を検討したり、保護者と改めて面談をしたりし、該当宅とはその後の対応の仕方についても話し合い、改善に向けています。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	54	5		○保護者とは、毎回の利用時に情報共有をすることや、LINE やメールなどを通して連絡を取り合うこと、校舎のブログを通し全利用者共通の情報を伝達することなどに努めています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	46	12	1	○毎回ホームページ上のブログを更新する際には、都度保護者には一斉にメールやLINE で通知していますが、まだ周知されていないようですので、今後もさらに努力していきます
	⑭	個人情報に十分注意しているか	55	4		○契約の際にも説明をしていますが、その他、個人情報に係る書類は全て鍵のかかる書庫にて保管しています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	55	4		○あらゆるマニュアルは策定し、校舎内に掲示またはファイルをいつでも閲覧できる状態にしてあります。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	55	4		○契約の際にも説明をしていますが、毎月1回必ず避難訓練、防災訓練等を行っており、該当利用者には2週間前から予告をし、校舎内にも掲示をしています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	47	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんでいく時とそうでない時もある</li> <li>・土曜日の昼過ぎというのが本人にとってあまりよくなかったあまりよくなかった</li> </ul> ○毎年、利用希望調査を行ったうえで、希望利用日時を決めていただき利用に至っていますが、年度の途中でも都合がつかなくなったかたには申し出をしていただくことで、利用日時を変更するというも行っています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員に会うのを楽しみにしている</li> <li>・きらりに行くのが安心安定に繋がっている</li> </ul> ○楽しく、安心して利用していただくように努めています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	52	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の心の支えになっています</li> </ul> ○利用者だけでなく、ご家族（保護者）も併せて支援することが大切なことと捉えております。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。